

## 2. 準備する

避難の準備をしましょう。

### ①情報の収集

- 最新の気象情報や警戒レベル、避難情報をテレビ・ラジオ・スマートフォン・携帯電話などで確認して下さい。

- また、市の広報車、警察や消防からの呼びかけにも注意を払って下さい。



### ②持ち出し品を準備する

- 家庭内備蓄品から非常持ち出し品を準備します。
- 避難所での生活に必要な物は自分で持ち込みましょう。

#### ■非常持ち出し品(例)

##### ●食料関係(最低でも3日分を用意)

飲料水、各種非常食品、缶切り・ナイフ等

##### ●救急・安全用品

医薬品、常備薬、底の厚い靴、防災ずきん・帽子等

##### ●貴重品

現金(小銭も)、預金通帳、認印、連絡カードや身分を証明するもの、健康保険証の写し等

##### ●衣類等

雨具、防寒具、下着類、タオル等

##### ●日用品

ラジオ、懐中電灯、電池、ロープ、ライター・マッチ、ろうそく、手袋、つえ、スマートフォン・携帯電話(充電器)、ティッシュ・ウェットティッシュ等

※乳幼児のいる家庭では、ほ乳びん、粉・液体ミルク、おむつ等も準備  
※その他、自身の環境に合わせて、必要な物を準備しておくと良い



警戒レベル	取るべき行動	防災情報
2	避難行動の確認	洪水注意報 大雨注意報等 〔気象庁が発表〕
1	水位など 情報収集	早期注意情報 〔気象庁が発表〕

### ③避難場所、避難ルートの確認

- 収集した情報を基に、浸水に対して安全な避難先を確認しましょう。避難先は、避難所の他に、親戚宅、知人宅、職場なども選択肢になり得ます。

- 避難所までの道路が内水氾濫によって浸水している可能性があるため、できるだけ高い道路を選びましょう。また、水路沿いの移動は避けましょう。

#### ■内水氾濫

道路側溝や農業用排水路から水が溢れ、道路やアンダーパス、低い土地等が浸水することがあります。

- 大雨時には、洪水だけでなく、土石流やがけ崩れといった土砂災害やため池の決壊なども発生しやすいため、危険箇所の近くは通らないようにしましょう。